2014年1月29日（水曜日）の読売新聞にパンの缶詰が紹介されました。

37 □ 栃木 5 13版　2014年(平成26年)1月29日(水曜日)
読売新聞

非常食供給 自販機を設置

災害時、無料で

無線LANも 那須塩原

▲自販機横の非常食ボックスにパンの缶詰を置く担当社員（28日、那須塩原市関谷で）

那須塩原市は28日、非常食の供給と公衆無線LAN（Wi－Fi）の機能が付いた飲料用自動販売機の設置を始めた。全国の自治体に先駆けた取り組みで、市役所本庁舎や支所、公民館など10か所に計11台を設置する。大規模災害時には、非常食をジュースなどとともに市民らに無料配布する。

28日は、同市関谷にある道の駅「湯の香しおばら」で、NTT東日本の関連会社「テルウェル東日本」社員が、自販機と非常食ボックスを設置した。非常食は当初、乾パンを予定していたが、同市内のパンメーカーの「パンの缶詰」に切り替え、レーズンとオレンジの2種類の缶詰48個を備えた。公衆無線LAN設備は、来月中に設置を終える。自販機から半径約50㍍以内で利用可能で、通常はタブレット端末やスマートフォンから1日2回計30分まで、無料でインターネットなどに接続できる。

テルウェル東日本によると、今回の自販機設置については、神戸市や愛知県安城市などからも問い合わせがあり、観光地などで設置を広めたいとしている。